

# 株主資本等変動計算書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

いわて県北クリーン 株式会社

(単位 円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	90,000,000					168,349,712	168,349,712		258,349,712
当期変動額									
新株の発行									
剰余金の配当									
当期純利益						153,828,696	153,828,696		153,828,696
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	0					153,828,696	153,828,696		153,828,696
当期末残高	90,000,000					322,178,408	322,178,408		412,178,408

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
前期末残高						258,349,712
当期変動額						
新株の発行						
剰余金の配当						
当期純利益						153,828,696
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計						153,828,696
当期末残高						412,178,408

## 個 別 注 記 表

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

### 2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産 定額法  
無形固定資産 定額法

(3) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度末までに発生していると認められる額を計上しております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンスのリース取引は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

尚、高額なものについては、リース期間定額法で処理しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

当社は廃棄物の中間処理を主要な事業としております。

当該履行義務は、廃棄物の受入または処理完了により、顧客に経済価値が移転し、支払を受ける権利が確定するため、その時点で収益を認識しております。

### 3. 会計方針の変更

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当事業年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期期首残高への影響もありません。

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 9,800 株

### 5. 一株当たり情報に関する注記

(1) 一株当たりの純資産額	42,059 円	2 銭
(2) 一株当たりの当期純利益金額	15,696 円	80 銭